

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	3. 行政情報化推進事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	17. 情報システム費	担当所属	情報システム課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額				
経常	単独	計画	0	0	299,029	実施計画	第5章 基本施策5	市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち (市民参加・自治体運営)	令和3年度	-	
								行政財政運営	令和4年度	-	
								施策4	行政手続の簡素化と利便性の向上を図ります	令和5年度	-
										令和6年度	-
									令和7年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	7,350	
本年度当初査定額	7,350	405,020

財源内訳	諸収入						一般財源
本年度当初要求額	7,350						△7,350
本年度当初査定額	7,350						397,670

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) サーバ・パソコンなどの情報機器やソフトウェアの一括調達、一元管理化を進め、情報化に係る資産の効率運用を図ります。また、仮想化サーバ環境の構築と活用を通じて、各種業務システムの運用経費の縮減と運用性の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課の導入システムに関する支援を行います。 ・庁内LAN及びパソコン等機器の適正な維持管理を行います。 ・情報機器やシステム調達に関する協議及び支援を行います。 	<p>(事業の目的) 行政の情報化を推進し、効率的な行政運営を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 行政運営における情報収集、情報伝達の迅速化を図り、情報の共有化を推進します。</p>
<p>(事業実施上の課題点) 情報機器等を活用し、効率的な行政運営の推進を進めると共に、情報漏えい対策を始めとした情報セキュリティ対策の一層の強化を図ります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・事務用PC、仮想環境は、現行実績や需要予測から、調達スペックや保守内容の見直しを図った。また、リースアップ品の有効活用によるPCの新規調達台数の削減を図っている。</p> <p>・Adobe製ソフトウェアの稼働実績を分析し、本数の削減を図った。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・ウイルス対策ソフト廃止により、OS標準ソフトを利用することとし、その分のリスクを受容していることにご留意願いたい。</p> <p>・需用費は、紙、インクが大半を占め、更にコスト削減するには、紙の成果物を多く提出させている部門が、業務改善に取組む必要がある。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	25	33	△8
10	16,455	16,863	△408
11	11,477	11,505	△28
12	294	291	3
13	369,657	369,731	△74
17	6,843	61	6,782
18	269	272	△3

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	22	05	04	01	50	16	上下水道部機器使用料	7,350	7,350	8,539	△1,189
	差引一般財源							△7,350	397,670	△8,539	406,209